

公益社団法人日本監査役協会 会員各位

国際監査・保証基準審議会 (IAASB) ボードメンバー 大野 美希子

国際会計士倫理基準審議会 (IESBA) ボードメンバー 井村 知代

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

監査・保証基準及び会計士倫理基準の国際基準設定にご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この度、国際監査・保証基準審議会 (IAASB) および国際会計士倫理基準審議会 (IESBA) は、次期戦略期間 (2028-2031 年) に向けた Strategy and Work Plan (SWP) の策定に先立ち、両審議会による共同ステークホルダー調査 (以下「共同サーベイ」) を 2026 年 1 月 21 日に公表しております。

本共同サーベイは、急速に変化するグローバル環境において、監査・保証および職業倫理に関する国際基準が公共の利益に最善の形で資するために、幅広いステークホルダーの意見を収集することを目的としています。

本共同サーベイで寄せられた各国や各業界の多様な知見は、SSB (基準設定審議会) が国際基準の関連性と実務上の適用性を高めるうえで極めて重要です。特に、デジタルトランスフォーメーション、サステナビリティ情報、地政学的・規制環境の変化、監査法人のビジネスモデル変化といったトピックは、今後の監査・保証および倫理基準に大きな影響を及ぼすことが想定されます。

また、日本のステークホルダーの皆様からのご意見を SSB に届けることは、より良い国際基準の形成するうえで非常に重要であると考えております。何卒ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

## 記

### ■ 本共同ステークホルダー調査について

- 本共同調査は、IAASB および IESBA（以下、総称して基準設定機関（SSB））が 2028～2031 年度に向けたそれぞれの戦略と作業計画（SWPs）を策定するプロセスにおける第一歩です。本調査は、SSB が SWP に向けた協議文書（2026 年末を目標）を作成する際に参考とする特定事項について、ステークホルダーの意見を募るものです。
- 本調査は、多様なステークホルダーからの意見が、SSB が高品質な国際基準の開発という使命を通じて公共の利益に最善の形で貢献する方法を把握する上で有益であると考え、幅広いステークホルダーを念頭に作成されました。
- 本調査は下記のセクションで構成されています。関係者は **2026 年 5 月 15 日**までに、セクション I、III、IV、V に含まれる質問に回答してください：
  - セクション I — 回答者について
  - セクション II — 背景
  - セクション III — **2028-2031** 年における SSB の戦略的ポジショニング
  - セクション IV — **SSB** に影響を与える主要なトレンド
  - セクション V — **SSB** 活動計画における共同行動分野
- すべての質問やステークホルダーからの意見募集事項に回答することも、選択した質問や事項のみに回答することも可能です。
- すべての回答は公的記録として扱われ、提出された意見は最終的に SSB のウェブサイトに掲載されます。
- ご回答は [オンライン調査](#)を通じてお願いいたします。

(原文)

<https://www.ethicsboard.org/focus-areas/joint-stakeholder-survey-shaping-iaasb-and-iesba-strategies-2028-2031>

(和訳)



IAASB\_IESBA SWP  
2028-2031共同...